

県民講演会

参加無料

申込み不要
CPD2.0単位

開催日 2025 9.16(火) 16:00-18:00

会場 奈良春日野国際フォーラム 薔 —I・RA・KA—
〒630-8212 奈良県奈良市春日野町101 TEL 0742-27-2630(代表)

事前申込みなしで参加できる
市民向け講演会です。
多くのご参加を
お待ちしております。

第1部：16:00-17:00

高田 将志氏

奈良女子大学 学長

Masashi
TAKADA



【講師略歴】

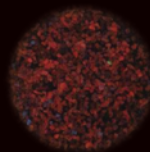
富山県富山市生まれ。
1985年 理学修士(地理学)。
1995年 奈良女子大学文学部助教授採用。
2001年 国立極地研究所助教授(研究系)併任。
2008年 奈良女子大学文学部教授。
2013年 同大学附属中等教育学校長。
以降、同大学において共生科学研究センター長、
大学院人間文化総合科学研究科長などを歴任。
2024年 奈良女子大学学長就任、現在に至る。
専門は自然地理学、地形学。

電子スピン共鳴(ESR)・ 光ルミネッセンス(OSL)計測と 自然史・自然災害履歴の解明

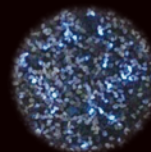
自然史や自然災害履歴を解明するためには、関係する自然現象が“いつ”発生したかを特定することが重要になります。ある地域で発生する自然災害の再来周期がわかれば、その発生リスクを評価することもできるでしょう。本講演では、ESR・OSL年代測定とその関連技術を中心に、それらを自然史や自然災害履歴の解明にどのように利用可能かについて紹介したいと思います。

年代測定に用いられる
鉱物結晶の
ルミネッセンス
発光現象

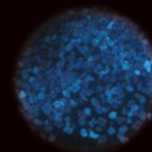
(島田、2008より)



江若花崗岩



柳生花崗岩



比叡花崗岩A

第2部：17:00-18:00

金田 明大氏

三重大学 文学部 教授

Akihiro
KANEDA



【講師略歴】

神奈川県座間市生まれ。
2024年 博士(歴史学)。
1996年 奈良国立文化財研究所(現奈良文化財研究所)入所。平城宮跡発掘調査部技官、飛鳥藤原宮跡発掘調査部技官、埋蔵文化財センター研究員、主任研究員、室長、埋蔵文化財センター長、上席研究員を経て、2025年より現職。専門は考古学。

遺跡調査の可能性を広げよう —土地の歴史を知り、安心安全な社会に活かす

全国で行われている遺跡の発掘調査や保護のための活動は、私達が主に生活する地表近くの浅い部分の地質の状況を知ることができます。災害痕跡や人間の活動など、土地に刻み込まれた情報は、今を生きる私達にも多くの情報を与えてくれます。ここでは、その実際を紹介しながら、土地の歴史を知るための方法やそれを防災・減災にいかにつかしていくのか、という視点から研究を紹介したいと思います。



地中レーダー探査による寺院の調査



主催：公益社団法人 日本地すべり学会 第64回(2025年度)研究発表会および現地見学会 実行委員会

後援：国土交通省近畿地方整備局、林野庁近畿中国森林管理局、農林水産省近畿農政局、奈良県、奈良市、宇陀市、
(一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部、京都大学防災研究所斜面防災学術センター

協賛：(一社)関西地質調査業協会、(一社)斜面防災対策技術協会関西支部、(一社)奈良県建設業協会、
(一社)日本アンカー協会近畿支部、(一社)全国特定法面保護協会近畿地方支部



大会ページ